

「維新の狙いは、「目の上のたんこぶの大阪市をぶっ潰す」  
なのでしょうか？」

令和2年10月28日

●ヨシロウさんからの質問

「大阪市廃止」住民投票、維新の狙いは、「目の上のたんこぶの大阪市をぶっ潰す」なのでしょうか？もし可決なら、大阪市は政令指定都市の優遇を失う等、大阪市民には何のメリットも有りません。その狙い以外は、理由が考えられません。

●西田昌司の答え

「大阪都構想」という名称自体が詐欺ですし、その正体は「大阪市廃止構想」です。（政令指定都市である）大阪市は現在、大阪府以上の権限を持っていますが、大阪市を廃止してしまえば権限を全て大阪府に握られてしまいます。大阪市が廃止されて4つの特別区に分割されると、これまで普通にやれていたことができなくなりますし、大阪市民にとっては損でしかありません。

現在、大阪市には24の区がありますが、それぞれに市議員がおり、大阪市民は市議員に陳情をすればいろいろな要望が叶えられますが、特別区に成り下がってしまえば議員の数も少なくなりますし、権限も大幅に縮小されるので、（今の東京都議会議員のように）大阪府議会議員に権力が集中することになります。大阪都構想の中身は、大阪市が持っている権限を単に大阪府に握らせるだけの話です。

維新の方々は「大阪都構想によって二重行政をなくす」と息巻いています。「二重行政」の定義自体があやふやではありますが、例えば次のようなこ

とを言いたいのでしょうか。現在、大阪市に大阪市中央体育館と大阪府立体育館があります。大阪市立の体育館があるのに、そこにさらに大阪府立の体育館があるのは無駄であると彼らは主張するでしょう。しかし、これは見方を変えれば、大阪市民は二つの体育館を気軽に利用できるのですから、大阪市民は得をしているのです。また、大阪市がそのように恵まれた利便性の高い自治体であることで、周辺の自治体の住民も大阪市に行けば恩恵を受けられるわけですから、目くじらを立てるようなことでは全くないはずです。

維新の方々が言うように、大阪都構想によって大阪市に対する「無駄」な投資が減らせるとしましょう。すると、大阪市中で使われるおカネが少なくなりますから、それで大阪市が発展するはずがありません。「無駄の削減」といった発想で大阪市が豊かになることはありませんし、逆に大阪市が廃れてしまうのは考えてみれば当たり前の話です。そして、その被害者は大阪市民なのです。

このように、大阪市民が圧倒的に割りを食う構想となれば、大阪市民が猛反対してしかるべきですが、賛成派の大阪市民の方がむしろ多いという現状に私は驚いています。賛成するのは大阪市民の自由ですが、大阪市民のためには全くならないという事実を踏まえた上で投票していただきたいものです。

大阪都構想のような代物が賛成・反対を二分するようなことになっているのは全く意味不明ですが、事の始めは大阪府知事時代の橋下さんに遡ります。当時、大阪市長は平松さんでしたが、橋下さんが大阪市を変えようと思っても、政令指定都市である大阪市は大阪府よりも権限が強く、橋下さんの思うようになりませんでした。ですから橋下さんは大阪府知事を辞めて大阪市長となり、橋下さんの盟友の松井さんが大阪府知事となりました。

大阪府議会と大阪市会を大阪維新が握っているのであれば、大阪維新はやりたいことを全て実現できるはずなのに、大阪都構想のような代物を持ち出して制度を変えようとするのは全く理解ができません。もしも住民投票に

よって大阪市が廃止されることになれば、新制度に移行するためのイニシャルコストが莫大にかかりますし、本来は大阪市民に使えるはずのおカネが使えなくなってしまって（二重行政の解消どころか）二重、三重に無駄となります。

そして、最後に根本的な指摘をしておきましょう。5年前、大阪都構想は住民投票によって否決されましたが、一度決められたことを蒸し返すのは民主主義のルール違反です。5年前、公明党は都構想に反対の立場でしたが、今回、都構想に賛成しないのであれば刺客を送るとの維新側からの脅しに屈して賛成の立場に寝返りました。そこまでの今回の住民投票であることを忘れてはなりません。

大阪都構想は経済的に全くメリットがないだけでなく、非常に暴力的なやり方で強引に住民投票に持ち込んでいるという点で全く感心できませんが、維新の振る舞いにノーを突き付けられるのは大阪市民しかいません。大阪市民の皆様におかれましては、どうか賢明な判断をしていただきますようお願いいたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>